

# 令和3年度当初予算編成のポイント

## 坂本町の復旧・復興と新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた予算編成

### 1 財政見通しの現状

- 法人市民税の減収や普通交付税の合併算定替終了などによって、一般財源の確保が厳しくなる中、令和2年度に発生した、全国的な新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨による被災を受け、市債の増加や基金の減少から財政基盤が大きく傾いてきている現状にあります。
- 今後も増収が期待できない中、直近の課題である坂本町の復旧・復興や新型コロナウイルスの感染症対応を推進し、経済活性化と質の高い経済社会の実現などに取り組みつつ、一方で行財政改革を着実に進めることで、予期せぬ自然災害等にも対応可能な弾力性のある財政構造を確立していく必要があります。

### 2 坂本町の復旧・復興と新型コロナウイルス感染症対策の計画的な推進

- 坂本町の復旧・復興、新型コロナウイルス感染症拡大への対応を最優先として計画的に進めていくこと。
- なお、推進する上では、審議中の「坂本町復興計画」に十分配慮するとともに、防災・減災対策、経済活動の段階的な引き上げ、「新たな日常」の実現などに留意し、各課、施策ごとの優先順位を明確にすること。

### 3 持続可能な財政運営に向けた取組み

- 上記の最優先課題のために必要となる財源確保として、ビルド・アンド・スクラップによるこれまでの事業の改革や制度の見直しを行い、「新たな日常」に合うものと合わないものを十分検討を行った上で、メリハリをつけて要求を行うこと。
- 最優先課題以外の事業に対するシーリングは、「義務的経費及び数年ごとに行う経費を除く経費」に対して、**令和元年度**当初予算における一般財源ベースの90%というシーリング率を上限として設定する。なお、部内・課内におけるシーリング率以上の経費削減については、削減額の1/2を上限とし、新たな事業等への活用を認めるものとします。